

## 第2回 うおづビジネスプランコンテスト（概要）

開催日時	平成30年2月18日（日）13：30～17：30		
会場	ホテルグランミラージュ		
委託業者	株式会社北陸博報堂富山支店		
審査委員	委員長	大愛高義氏	
	委員	尾谷進氏、竹島千代子氏、林口砂里氏、平下茂親氏、深谷信介氏	
応募件数	35件	一次審査通過	8件 → 最終審査（プレゼン）へ
プレゼン来場者	130人		

最終審査結果（※プレゼン時には各プランに対して審査委員から質疑応答あり）

	所属	プラン名
	発表者名	プラン概要
グランプリ (賞金100万円)	有限会社源七	WARASIBE 食の無料加工サービス
	窪田祐司	魚津の食材を乾燥加工し、食材活用の可能性を高めるサービス
特別賞 (20万円)	わたははじめプロジェクト	休耕田を解消し、新しい和綿産業の復活を目指す「わたははじめプロジェクト」
	稗苗良太	耕作放棄地を解消しながら、体験農業、商品開発等までを繋げたプロジェクト
		買物難民撲滅支援アプリ「えんじよるの」の運営
	美齊津康弘	買物難民と有償ボランティアをつなぐサービスの提供
上記以外の発表者 (発表順)	中島果樹園	UOZUから始まる果樹の第6次産業
	中島義治	落下果樹などの食品ロスをなくし全ての世代を対象とした雇用の創出
		獲れたて！うおづおさかなポータルプロジェクト
	平れえこ	レシピ動画と連携したおさかなECサイトの制作
	有限会社商栄工芸	新うおづ名物たてもん焼き
	中林寛	たてもんブランドの新たな名産お土産の開発
	大高建設株式会社	新規開発熱交換器を用いた、地下水利用ヒートポンプ空調システムの販売・施工
	稲場智亮	地域特性を活かした効率的な空調システムの普及
	湘南工科大学	プロジェクションマッピングで蘇る太古の森
	大島康徳	プロジェクションマッピングを活用した施設の魅力アップ

審査委員講評（要約） 本日プレゼンがあった8件のビジネスプランは、バラエティに富んだ提案であった。どれも魅力的なプランであり順位がつけづらく、審査は難航した。

それぞれの分野での魚津に対する熱い想いを感じた。これらがつながると大きな力になるとも感じた。是非ビジネスを起して雇用や交流人口の増加に寄与し、魚津のまちの活性化につなげて欲しい。